



館蔵 ユスティニアヌス『法学提要』（インクユナブラ）ヴェニス 1478年頃

近畿大学中央図書館報

香 散 見 草

2008 37号

目 次

☆ロンドン大学SOAS(東洋・アフリカ研究学院)図書館／

IALS(高等司法研究所)図書館を利用してー図書館司書の方々との想い出ー

… 林 真貴子 … 1

☆シジウィック『政治学要論』とJ.N.ケインズ … 中 井 大 介 … 5

☆わたしと図書館 本が教えてくれたもの …… 山 内 佑 夏 … 11

☆ホームページ …… 松 屋 あ き ・ 青 木 斐 … 13

☆編集後記 …… 15

香散見草

山里の軒はにさけるかさみくさ

色をも香をも誰みはやさん

(葳玉和歌集)

【法学提要】 解題

東ローマ皇帝ユスティニアヌス1世（在位527-565年）は当時混乱状態にあった法体系を整備するために、法学者トリボニアヌスを長とする委員会に、今日『ローマ法大全』と呼ばれる4部からなる法典を編纂させた。その1部『法学提要』は法学校での法律の教科書として使われた。

印行は、ヴェニスの大印刷業者ニコラ・ジャンソン（Nicolas Jenson, ca1420-1480）。組版は、中世写本の法律書の段組を踏襲した形式で、本文を囲むように注釈を配置してある。各章の冒頭の語の頭文字のスペースは、後で専門の職人が装飾的な文字を赤や青のインクで書き入れた。

近畿大学中央図書館報 香散見草 37号

2008年4月発行

編集・発行 近畿大学中央図書館

〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

TEL(06)6721-2332